

鈴木あみ大ピンチ!! 「両親vs.事務所」の泥沼裁判

FOCUS

1.31 250YEN

KSD、株、外務省3点セットで「森首相」の絶体絶命
ウソ泣き!? 速攻入籍「石坂浩一」の人間研究



精神障害者を説得、入院させる 日本で唯一人の「コンビンサー」とは

事故・失敗なしの「移送サービス」とは

せつば詰まっている。大切な家族が万物を得つて居れている。誰にも耳を貸さず、船にも入れない。何とか入院させ早く治癒を……。そんな時、家まで乗り込んで医者を説得。病院まで連れて行く。東京・新宿にある精神障害者の移送サービス専門社「キワド警備」、押川剛代表(32)が、相談に訪れた患者の家族から、入念にヒヤリングを行なっている。(右の写真)「最初の移送は強制的なものではない。あくまで患者さんの意思で入院させるのが原則という。家族と話し合ってからを割て患者と話して入院させることもできる。でもカウンセラーでもない、コンビンサー(精神障害者など)です。

事前の面会は、家庭環境や経済状況から生産性があり、しばしば時間に及ぶ。精神を成功させには家族の協力が不可欠、タブー視しがちな「性」についても囁き話をともらう。その上で患者のこ

とが第一」という現地の意見が1割、患者は成功、あとは現場の見解が1割、患者の説得率は、ヒアリングとの答い合わないものだから2割くらい。なぜかの理由があつてやる仕事と云うのだ。

が、患者が囚囚を持ち出したり、予測できない事態がある。最近の事件を見る限り、以後精神薬や毒劇物を撒いておらず、今後精神薬や毒劇物を撒いておらず、これまでに誰かの患者を殺す事故や事件はない。患者の思などお構

かないこと、船中で喰みつかれたり、刀物で切りつけられることがあるが、特別な装備は一切持たない。こんな姿勢じゃ説得なんできません。患者はモンスターではない。私に言われば、全くうそつかずに生きている人だ。『ですね』

九指は小遣の出身。大手時代は心理学

写真で「最初の移送は強制的なものではない。あくまで患者さんの意思で入院させるのが原則という。家族と話し合ってからを割て患者と話して入院させることもできる。でもカウンセラーでもない、コンビンサー(精神障害者など)です。

が、患者が囚囚を持ち出したり、予測できない事態がある。最近の事件を見る限り、以後精神薬や毒劇物を撒いておらず、今後精神薬や毒劇物を撒いておらず、これまでに誰かの患者を殺す事故や事件はない。患者の思などお構

かないこと、船中で喰みつかれたり、刀物で切りつけられることがあるが、特別な装備は一切持たない。こんな姿勢じゃ説得なんできません。患者はモンスターではない。私に言われば、全くうそつかずに生きている人だ。『ですね』

九指は小遣の出身。大手時代は心理学

サークルに属し、ユニバフロイトの本読みで、学術的な知識は、ほとんど独学で。大手で中途での転勤、自分で登録会社をなし、一時就職のスタッフを抱えるなどだったが、一緒に仕事を

やっていった。他のノックへは民間的な会つる感じ。私のノックへは民間的な事付けを加え、ある程度マニュアル化できたら、この仕事をやれる人がもっと増えたらと思ふんすが……」

佐賀のハシヤック事件(左の写真)

が起きたときに、入ることになります。『なぜかよろめ走る母の様子が報じられた。何を打たずに患者を囚囚することができたのか』と、周囲も医療でない業者は無理、「人権侵

害じゃないのか」など俄然批判的だつた。が、仕事の依頼は年々増えて増加し、これまでに誰かの患者を殺す事故や事件はない。患者の思などお構

かないこと、船中で喰みつかれたり、刀物で切りつけられることがあるが、特別な装備は一切持たない。こんな姿勢じゃ説得なんできません。患者はモンスターではない。私に言われば、全くうそつかずに生きている人だ。『ですね』

九指は小遣の出身。大手時代は心理学

写真で「最初の移送は強制的なものではない。あくまで患者さんの意思で入院させるのが原則という。家族と話し合ってからを割て患者と話して入院させることもできる。でもカウンセラーでもない、コンビンサー(精神障害者など)です。

が、患者が囚囚を持ち出したり、予測できない事態がある。最近の事件を見る限り、以後精神薬や毒劇物を撒いておらず、今後精神薬や毒劇物を撒いておらず、これまでに誰かの患者を殺す事故や事件はない。患者の思などお構

かないこと、船中で喰みつかれたり、刀物で切りつけられることがあるが、特別な装備は一切持たない。こんな姿勢じゃ説得なんできません。患者はモンスターではない。私に言われば、全くうそつかずに生きている人だ。『ですね』

九指は小遣の出身。大手時代は心理学



PHOTO: 押川 剛